

第4回高校生ものづくりコンテスト山形県大会 電気工事部門

山形県立長井工業高等学校
事務局 山口 清樹

1 はじめに

6校から10名の参加を得て4回目の大会となったが、昨年まではいくつかの課題を抱えていた。昨年の課題は開催経費の捻出と準備を含めた実施時間が短すぎたこと、総括する所と部門事務局との調整等であった。

本年は高産連および校長会より十分な予算配当と事務的な調整をして頂いたため、準備当初から開催まで円滑に進めることができた。また、材料確認と引率者打合せを第1日目、競技と審査を第2日目とし、2日間の開催としたため、審査にほぼ十分な時間をあてることができた。



- 3位 渋谷 賢芳（鶴岡工業3年）
- 4位 小島 篤史（鶴岡工業3年）
- 5位 小野寺 謙（酒田工業3年）
- 6位 佐々木拓巳（酒田工業3年）

3 まとめ

昨年までと同様に、山形県電気工事工業組合、山形県電気工事高等職業訓練校の両所からは高額な材料提供と審査員の派遣および、技術にかかわる助言を頂いたことに深く感謝申し上げます。また、会場と設備をご提供頂いた、雇用・能力開発機構山形センターにも深く感謝申し上げます。



2 大会結果

課題は全国大会と同一としたが、過去3回の大会に比べ難度がさらに増し、課題の作業条件の通りに完成した生徒は少数となった。作業条件・図面に忠実ではない思い込みの結線が目立った。さらに、電動工具の使い方について指摘を受けた。110分間の審査の結果、10名のうち4名が重大欠陥・作業条件違反により入賞対象とはならず、6名の順位を確定した。

順位（3位まで表彰）

- 1位 横倉 孝徳（山形工業3年）東北大会出場
- 2位 押切 貴則（東根工業3年）

審査員の方からの講評では、課題図面・作業条件をよく理解して取り組む事や、工程の組立、心が伝わる工具の使い方等の教示と、山形県の電気工事のために若い人に頑張ってもらいたい等の激励を頂いた。

今後に向けての課題としては、年々難度が増す課題に対して、指導者自信が技量を高めて、かつ十分な指導期間が必要となるものと考えている。

宮城県で開催された2008ものづくりコンテスト東北大会に出場した横倉君は、努力の結果が実り、2位という好成績でした。来年は是非全国大会に出場する生徒を輩出したいものです。